

令和6年度 第4回宇城市子ども・子育て会議 議事要旨

1 開催日時 令和7年3月13日(木) 15:00～16:00

2 会場 宇城市役所 2階庁議室

3 出席委員

出川委員 杉浦委員 志水委員 前田委員 林田委員 末富委員 内田委員
藤田委員 鷲尾委員 堤委員 神之田委員 中山委員

4 事務局

岩井部長 平松次長 上原センター長 少子化対策係(川上、吉澤)
子ども未来課(西本、門) 健康づくり推進課(松本)

5 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事
- (4) その他
- (5) 閉会

※宇城市子ども・子育て会議条例第5条第2項により、15名中12名出席(半数以上の出席)のため、この会議は成立する。

【議事】

- (1) (仮称)宇城市こども計画について
事務局より資料に基づき説明
 - ① パブリックコメントの結果を報告
 - ② 前回の会議から追記・修正した部分を説明(事前に配布した資料を使い説明)

出川委員:成果指標と目標値について、現状値が既に目標値を超えているものがある、これは「現状維持」に変更が望ましいのではないかと。

事務局:ご指摘のとおり変更する。

杉浦委員:成果指標と目標値については、今後の検証に備えて、根拠となる資料を記載したほうがよい。欄外にでも注釈で加えたらどうか。

事務局:ご指摘のとおり追記する。ページレイアウトの関係上、「資料」のほうに掲載する。

藤田委員:先日、生涯学習課主催の会議にて、「インクルーシブ教育」について話があった。支援クラスの児童も、普通クラスの児童も同じクラスで学ぶというものであった。今後、市はその

方向で取り組みを進めるのか。

志水委員：「インクルーシブ教育」とは、その児童に最もふさわしい場で学ぶことである。

事務局：把握していないため、情報を共有し対応していく。

(2) 保育所等に係る令和7年度の運営体制等について
子ども未来課保育園係より資料に基づき説明

藤田委員：定員変更届は、いくつの施設から申し出があったのか。

事務局：7カ所から申し出があった。その内、1つは取り下げられ、1つは市との協議の中で変更しないこととなった。

藤田委員：宇城市は、都市部に比べると出生数の減少は緩やかな状況の中、定員を変更する際の、基準はあるのか。

事務局：市内でも地域の差があるので、園の状況をみて対応していく。

藤田委員：市と園との協議の場が、年に1回あるかないかなので、年に2回ほど全園が参加する協議の場を設けて欲しい。

4 その他

○お知らせ

① 「くまもと出会いサポートセンター Kumarry」の紹介
→計画書P83「結婚を希望する若者への支援」の取り組み事業

今年1/27開設。3/9時点で700名の問い合わせがあっている。これから面談し、本会員登録を行う。宇城市からの利用者8名、多くは熊本市在住の方。

3/2熊本城ホールにて、100対100の大型恋活イベントを行い、大盛況だった。
今後もイベントを開催していく。

② こどもセンター相談窓口の案内を市内中学3年生に卒業時に配布した

→計画書P53「いじめ、不登校、困難に直面するこどもへの支援、相談、救済」の取り組み事業
高校を中退する若者がいる中で、抱えている悩みを相談できる場所があることを知ってもらうために配布

○今後のスケジュール

① 3/24（月）の午後に、会長より市長へ計画策定の報告を行っていただく。

5 閉会

※福祉部長より挨拶